

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371600426
事業所名	グループホームふれんど

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域の祭礼の子供神輿を、利用者は心待ちにしている。中学生の職場体験を毎年受け入れ、ホームの祭りでは保育園にも声掛けを行っている。利用者から希望のあった書道ボランティアが来訪し、笑顔が増加した。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	年6回開催の運営推進会議は、市や地域包括支援センター、家族にも声をかけているが参加が少なく、多数参加の施策を考慮中である。民生委員は毎回出席し、ボランティアを紹介したりしている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	生活保護受給者を多数受け入れている為、区・担当課の訪問が定期的であり、ホーム状況の報告をしている。市や県主催の外部研修にも、法人を挙げて積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	法人内アンケートを活用し、見にくい時計を大きく見やすい時計に変更した。職員の顔と名前が一致しないとの意見には、顔写真と名前を共用部分に掲示した。利用者や家族の意見、要望は細やかに聞き入れて対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○		